

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



AI時代の教育とは
知識や体験を基に物事を多面的に見る力や考える力としてひらめきを生み感性を培うこと。そして単なる知識を超えた「知」と呼ぶたい。それは人知能が進歩する時代の要請でもあるだろう。

学校はゆたかな知識を築けるか

AIに敗て代えられる。だとすれば、人間にしかできない仕事が行われる。そんな時代を前に、学校教育は相応なる危機感を持たねばなるまい。

こじ中央教育審議会が答申をまとめた文教省が改訂を進めている新しい学習指導要領は注目すべき内容といえる。2020年度から小中高校で順次実施されるこの指導要領は、教育が何を

教えるかではなく、児童生徒の側から視点を見つめて何を学ぶかという姿勢にこそなる。その手法「アクティブラーニング」は、教育界では教員が求められる力量が求められるが、掛けあわせは人間的動機。そこで量と量の両立は困難である。思い切った「質」も優先され、多忙を極める教員に教育条件の整備が

